



2学期が終了しました

多くの行事があった2学期が終了しました。多様な学びの中で、どんどん成長していく東児中の生徒たちを見ていると本当にうれしくなります。

12/12 3年生地域学習発表会

延期していた発表会を玉野市教育委員会の山田先生を来賓に迎え、活動に協力してくださった方や学校運営協議会の方、保護者の方18名の方が参観して下さる中で行いました。今年度から、総合的な学習の時間に探究学習を行っています。今回、3年生は地域がよりよくなる「提案」を行いました。3年生は自分の考えをわかりやすく発表し、1・2年生は積極的に質問をしていました。3年生の発表は、中学での学びの集大成と言えるほど立派なものでした。これも学校運営協議会の方との熟議、フィールドワークでの学びがあったからこそです。地域の方とのつながりがあるからこそ「自分事」として考えることができる。東児中学校の良さが出た活動でした。ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。



12/15 人権の輪



東児中人権集会「人権の輪」を行いました。日本以外の生活や活動を体験された方を講師に迎え学習しました。2年生は JICA 等の活動をされていた清水さん、1年はカナダ在住の外間さん、3年はアメリカ在住の上地さんが講師でした。各クラスで対面またはオンラインで講演を聴き、その後体育館で人権について考えました。海外での経験をもとに、生徒とは違う視点をもっている講師の方から「他者の人権を守る」ためにはどうしたらよいか考えることができました。



12/16 生徒会主催球技会

バドミントンとソフトボール、そして学年対抗ドッチボール。みんなの明るい笑顔が輝いていました。



12/5 合同学校運営協議会 胸上小学校と合同の学校運営協議会を行いました



東児地区の子どもたちをいつも応援してくださっている学校運営協議会の方々と『育てたい東児地区の子ども像』というテーマで熟議を行いました。素直で優しい生徒がもっと積極的に活動できるよう支援していこうという話をしました。東児地区は「人の温かさ」が感じられる地区であり、「地域の人」を感じることができるからこそできる教育があると改めて感じました。いつもありがとうございます。



2025年も残り少なくなりました。戦後80年の節目の年ですので、生徒にもよく話をしたように思います。4月の沖縄修学旅行で耳にした「台湾有事」のワードが、今は全国ニュースとなっています。また、平和の象徴である大阪関西万博が開催されました。開催前は批判ばかりの報道でしたが、連日多くの人々が来場し、世界の様々な国の文化、近未来の世界に触れました。人は未知の世界に不安を覚え、マイナス評価をし、それが真実で批判することが正義となることがあります。戦争と平和は紙一重です。これから未知の出会いを繰り返すこととなる生徒たちは、自分のものさしだけでなく多角的に考える必要があります。東児中学校だけでは限界がありますが、今年も地域の方や保護者の方のご協力で、様々な学びができました。今年も大変お世話になりました。良いお年をお迎えください。

校長 大山 都